

AM/FMラジオレコーダー

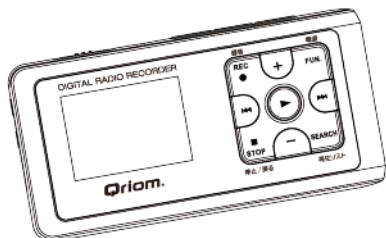
YVR-R304

取扱説明書(保証書付)



ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)
を最後までお読みのうえ、
正しくお使いください。



やりたいことがわかる
逆引き目次 ▶ 2ページ

- ◆ AM/FMラジオを受信、録音できます
- ◆ 受信感度表示機能
- ◆ ラジオ予約録音 最大7件
- ◆ ボイスレコーダー機能
- ◆ ライン入力録音機能
- ◆ 時刻自動補正機能
- ◆ スリープタイマー
- ◆ リPEAT再生
- ◆ マイクロSDスロット搭載
(マイクロSDHC32GBまで対応)
- ◆ USB ACアダプター(別売品)
電源使用可能

商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

受付時間:

月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

E-mail: support@qriom.com

ホームページ: [キュリオム](#)

この度は、AM/FMラジオレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときに役立て下さい。

はじめに初期設定を行ってください → P11へ

電源を入れる

電源



P11へ

時刻補正機能を設定する

時刻補正



P14へ

ラジオを聴く

聴く



P29へ

ラジオを録音する

録音



P34へ

録音したラジオを再生する

再生



P37へ

ボイスを録音する

録音



P40へ

録音したボイスを再生する

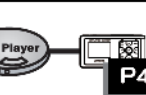
再生



P43へ

ライン入力で録音する

録音



P47へ

ライン入力で再生する

再生



P49へ

録音したファイルを消去する

消去



P51へ

予約して録音する

録音



P52へ

パソコンとの通信

通信



P60へ

～ 目次 ～

1) 安全上のご注意

安全上のご注意	7
---------	---

2) ご使用の前に

電池に関する注意	7
使用できる電池について	9
付属品一覧	9
各部の名称	10

3) はじめにする初期設定

電池を入れる	11
電源を入れる（電源を切る）	11
メインメニュー画面を表示させる	12
日時を設定する	12
時刻補正機能を設定する	14
ラジオの基本画面説明	16
ラジオの受信感度表示について	16

4) 使い方の基本説明

ステレオイヤホンの使い方	17
マイクロSDカード（別売・市販品）の使い方	17
別売のACアダプター、USBケーブルの使い方	20
ホールドスイッチの使い方	21
音量ボタンの使い方	22

5) 本体の基本設定をする

画面設定の方法	22
バックライト	22
コントラスト	24

システム設定の方法	25
時刻補正のオン/オフを選択する	25
時刻補正の設定	25
日時設定	25
スリープ設定	25
バージョン情報	26
戻る	27
設定のリセット	27
戻る	28

7) ラジオを聴く

アンテナの準備	29
別売のFMラジオアンテナの使い方	30
ラジオを受信するためのコツ	30
付属品等のオプション販売のご案内	31
ラジオを聴くための操作ボタン	31
ラジオの受信方法	32
手動で聴く	32
自動で周波数を登録する	32
自動で登録した放送局を聴く	33
自動で登録した周波数を消去する	34

8) ラジオを録音する

ラジオ録音中画面	34
ラジオを録音するための操作ボタン	35
ラジオの録音方法	35
保存先メモリー（内蔵/マイクロSDカード）を変更したい	36

9) ラジオモードで録音したファイルを再生する

ラジオ再生モード 停止/再生中画面	37
ラジオモードで再生するための操作ボタン	37
ラジオモードでの再生方法	38

10) ボイスを録音する

マイクについて	40
ボイスモード録音中画面	40
ボイス録音するための操作ボタン	41
ボイス録音方法	41

11) ボイスモードで録音したファイルを再生する

ボイスモード 停止/再生中画面	43
ボイスモードで再生するための操作ボタン	44
ボイスモードでの再生方法	44
ボイスモード停止中	45
ボイスモード再生中	46
A-Bリピートとは	46

12) ライン入力で録音する

ラインケーブルについて	47
ライン入力モードで録音する	48

13) ライン入力で録音したファイルを再生する

ライン入力モードでの再生方法	49
----------------	----

14) リピートモードを変更する

リピートモードを変更する	50
--------------	----

15) 録音したファイルを消去する

録音したファイルの消去方法	51
---------------	----

16) 予約して録音する

予約して録音するための操作ボタン	52
予約録音方法	53
予約一覧表示	58
予約の変更	58
予約をオフにする	59

17) パソコンとの通信

パソコンとの接続、取り外し	60
本機とパソコンを接続する	60
本機とパソコンの接続を解除する	61
録音したラジオや音声をパソコンで聴く・保存する	62
パソコンに接続中の本機（SDカード）のフォルダ構成	62
パソコンから取り込んだ音楽を再生する	63


18) その他


データの取り扱いに関する注意	65
著作権について	65
故障かな・・・?と思ったら	66
製品仕様	68
免責事項	70
お手入れの仕方	71
アフターサービス	72
個人情報保護のお取り扱いについて	72
保証書	

1) 安全上のご注意


※ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。


※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。








 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	
 分解禁止 ●火災・感電・けがの原因となります。	 指示に従う ●本体の変形・故障の原因となります。
 禁止 ●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。	 水めれ禁止 ●ショート・感電の恐れがあります。
 禁止 ●火災・感電の恐れがあります。	 指示に従う ●感電やけがの恐れがあります。

2) ご使用の前に

電池に関する注意

下記の注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

- ❶ 必ず電池のプラス(+)、マイナス(-)を正しく挿入してください。
- ❷ 爆発及び破損の恐れがあるので、電池を分解したり熱を加えたりショートさせたりしないで下さい。
- ❸ 長時間使用しない時は、電池を抜いて保管して下さい。抜かない場合、液もれの原因となります。

- ❶ 万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流して下さい。また、液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- ❶ 電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談して下さい。
- ⊖ 指定された種類の電池を使用して下さい。
- ⊖ 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・ケガの原因になります。
- ⊖ 直接半田付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。
- ⊖ ⊕と⊖端子を接続しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。
- ❶ 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護して下さい。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。
- ⊖ 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。
- ⊖ 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- ⊖ 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- ⊖ 充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。（本機で充電はできません）
- ❶ 万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、①けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。②お買い上げ店またはキュリオムサポートセンターへお問い合わせください。放置すると火災や火傷の原因になります。
- ⊖ 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- ⊖ 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。
- ⊖ 火気のある場所に電池を置かないでください。
- ⊖ 充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- ⊖ 乾電池や容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- ❶ 充電時は、同時に充電した充電機をご使用ください。（本機で充電はできません）
- ⊖ 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

使用できる電池について

本製品でご使用になることができる電池は以下の電池です。この電池以外をご使用ならないよう十分に注意してください。

■単4形アルカリ乾電池（推奨：山善、パナソニック、東芝、日立マクセル、SONY等の日本メーカーが生産している電池）

■ニッケル水素充電電池（推奨：パナソニック 社製エネルーブ）

<ご注意>

■ニッケル水素充電電池（パナソニック 社製エネルーブなど）をご使用の際は充電が満タンの状態でも電池残量表示が若干減っている状態になります。これはアルカリ乾電池を基準に残量表示を設定しているためで、アルカリ電池の電圧が1.5Vに対してニッケル水素充電電池は1.2Vと低いため起こる現象です。製品の不具合ではございませんのでご了承ください。

■日本以外のメーカーのアルカリ電池やニッケル水素充電電池は本製品の性能を十分に発揮できない場合がありますのでご了承ください。

■マイクロSDカード、マイクロSDHCカードに録音の際は、別売のACアダプター（YVR-AC1・P20参照）のご使用をおすすめ致します。アルカリ乾電池はご使用いただけませんが、電池の消耗は早くなり、内蔵メモリーへの録音時の電池持続時間よりも短くなります。

■ニッケル水素充電電池はマイクロSDカード、マイクロSDHCカードの種類や容量によってご使用になれない場合がありますので、ご注意ください。

■オキシライド乾電池はご使用できませんのでご注意ください。

ノイズについて

- ・録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。
- ・録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が入ることがあります。

付属品一覧

下記のとおり、付属品が同梱されていることを確認してください。

取扱説明書



ステレオイヤホン (スポンジカバー付)

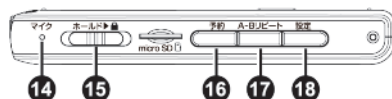


※ご注意

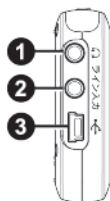
付属のイヤホンは試供品です。保証の対象外となりますのでご了承ください。

各部の名称

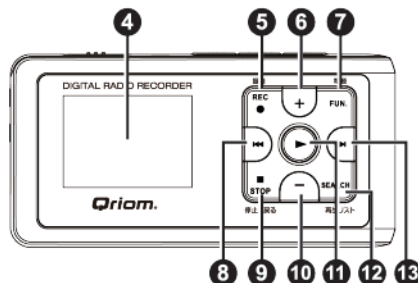
<本体上面>



<本体左側面>



<本体正面>



<本体右側面>



<本体背面>



- 1 イヤホンジャック
- 2 ライン入力端子
- 3 USB端子
- 4 液晶ディスプレイ
- 5 録音ボタン (●RECボタン)

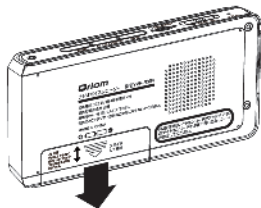
- 6 音量+ボタン
- 7 電源ボタン (FUNボタン)
- 8 ◀◀早戻しボタン
- 9 停止/戻るボタン
- 10 音量-ボタン

- 11 ▶再生ボタン
- 12 再生リストボタン (SEARCHボタン)
- 13 ▶▶早送りボタン
- 14 マイク
- 15 ホールドスイッチ
- 16 予約ボタン (RESVボタン)
- 17 削除 (ERASE) / A-Bリピートボタン
- 18 設定 (SET) ボタン
- 19 ストラップ取付部
- 20 電池カバー
- 21 内蔵スピーカー

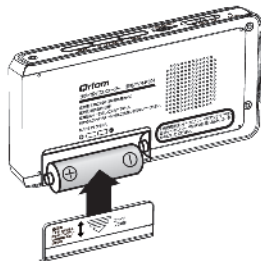
3) はじめにする初期設定

電池を入れる

- 1** 電池カバーを下へ強く押しながらかけてください。



- 2** 単4形アルカリ乾電池2本を+と-の向きに注意して入れてください。

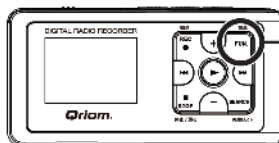


- ※ 電池は長時間使用しない時は必ず取り外してください。液漏れの原因となる恐れがあります。
- ※ ご自宅でのご使用時は、別売のACアダプター（YVR-AC1・P20参照）を使用することをお勧めいたします。
- ※ 電池交換の場合、時計がリセットされ、2016年1月1日0時0分になりますので、改めて時計をセットしてください。

電源を入れる（電源を切る）

<電源を入れる/電源を切る>

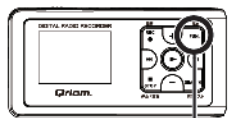
電源ボタン（FUNボタン）を2秒以上長押しします。



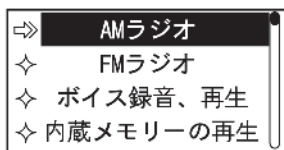
電源ボタン
(FUNボタン)

メインメニュー画面を表示させる

- 1** 電源がオン状態でFUNボタン（電源ボタン）を短く押すと、画面のように表示されます。

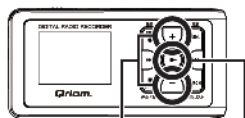


FUNボタン（電源ボタン）



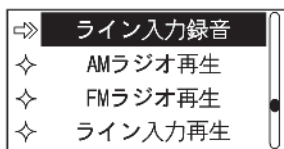
1 ページ目

- 2** 音量+、音量-ボタンでカーソルを切り替えたい機能に移動し
▶再生ボタンを押すと、切り替えることができます。



音量+、音量-ボタン

▶再生ボタン



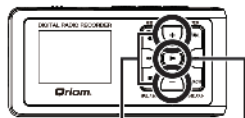
2 ページ目

日時を設定する

- 1** 電源オンの状態で、設定ボタンを短く押して、下記の画面が表示されたら音量+、音量-ボタンを押して、システム設定にカーソルを動かして▶再生ボタンを押します。

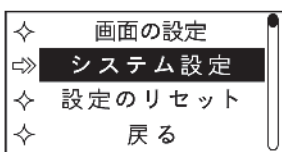


設定ボタン

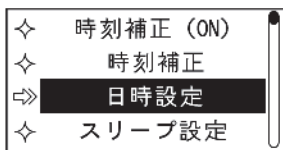
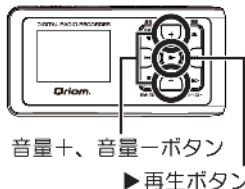


音量+、音量-ボタン

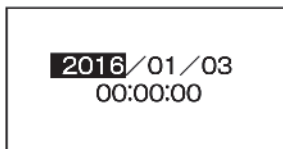
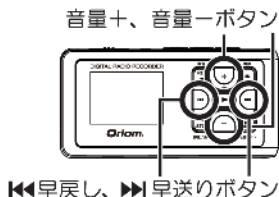
▶再生ボタン



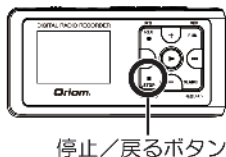
- 2** 音量+、音量-ボタンを押して、日時設定にカーソルを動かして
▶再生ボタンを押します。



- 3** 音量+、音量-ボタンで年を合わせます。
年を合わせたら、▶▶早送りボタンで右に移動して月を合わせます。
順に日/時間/分を合わせます。左に戻りたい場合は、◀◀早戻しボタンで左に移動します。

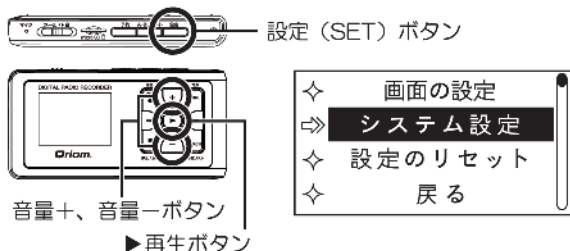


- 4** 設定が完了したら、停止/戻るボタンを押します。

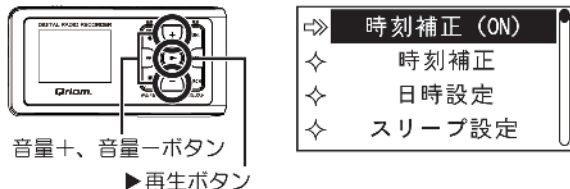


時刻補正機能を設定する

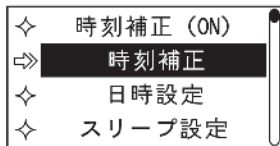
- 1** 設定 (SET) ボタンを押して、設定画面に切り替えます。
音量+、音量-ボタンを押してシステム設定を選択し、▶再生ボタンを押します。



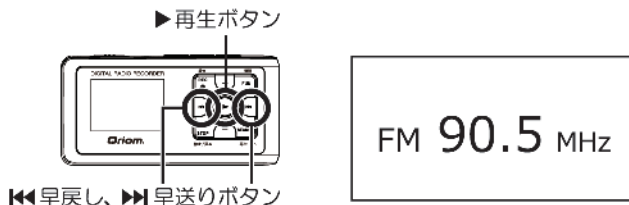
- 2** 時刻補正 (OFF) を音量+、音量-ボタンで選択し、▶再生ボタンを押します。表示が (ON) に変わります。



- 3** 音量+、音量-ボタンで時刻補正を選択し、▶再生ボタンを押します。



- 4** ◀◀早戻しボタンと▶▶早送りボタンでNHK-FMに周波数を合わせて、
▶再生ボタンを押します。

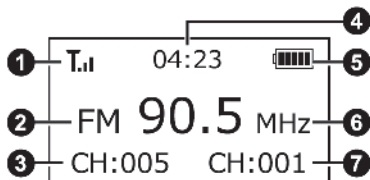


- 5** 以上で時刻補正が設定されました。
本機の電源をオフにしてください。

⚠ご注意

- ※ 上記設定が完了後、必ず電源をオフにした状態にしてください。
- ※ 自動的に電源が入り、時刻補正が開始されます。
- ※ 受信電波の状況により、時刻補正後の時刻に若干の誤差が生じることがありますのでご了承ください。
- ※ ラジオ予約録音よりも時刻補正が優先されます。時刻補正機能の優先順位が一番高く設定されています。
- ※ 時刻補正実行中は画面に『時刻補正中』と表示されます。
- ※ 時刻の誤差範囲が±5分以内の時、時刻補正されます。
- ※ 5分以上時刻がずれている場合やラジオ受信状態が悪い場合は、時刻補正されません。
- ※ 時刻補正時間は本機に設定されている時刻で12時55分から開始され補正が完了するまでとなります。
- ※ 時刻補正機能は一度設定を（ON）にすると毎日時刻補正を実行します。
- ※ 時刻補正をやめたい時は前ページの2項で時刻補正（OFF）に設定してください。

ラジオの基本画面説明



- | | | |
|----------------------|-----------|-----------------------------------|
| ① ラジオ受信感度表示 | ④ 時刻表示 | ⑦ 現在選択している
放送局チャンネル
番号 (CH) |
| ② AM/FMマーク | ⑤ 電池残量マーク | |
| ③ 放送局チャンネル番号
(CH) | ⑥ 周波数 | |

ラジオの受信感度表示について

本製品はラジオ受信時に受信感度の状態をリアルタイムに表示することができます。画面左上のアイコンで受信状況を確認できます。

- T** 強い信号
T ~ **T** 弱い信号 (ノイズが多い)
T ~ **T** 微弱でかろうじて受信できる信号
T 放送局からの電波がない状態

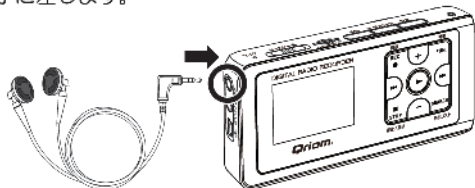
⚠️ ご注意

- ※ ラジオ局以外の電波による電波干渉の影響でラジオが受信できない状態でもアンテナマークが5本表示になる場合があります。
- ※ パソコンや電化製品など電波を発する機器の近くでは、ラジオが受信できない状態でもアンテナマークが5本表示になる場合があります。
- ※ FMラジオ受信時にイヤホン又はFMラジオアンテナを接続しない場合、「微弱」又は「放送局からの電波がない状態」のアイコンを表示します。

4) 使い方の基本説明

ステレオイヤホンの使い方

イヤホン端子に差しします。



※ 付属のステレオイヤホンは消耗品となります。破損又は紛失した場合、市販品をお求め頂くか、別売のステレオイヤホン（型番：YVR-ER3）をお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。（P31を参照してください。）

※ 付属のステレオイヤホンは保証の対象外となりますので、ご了承ください。

マイクロSDカード（別売・市販品）の使い方

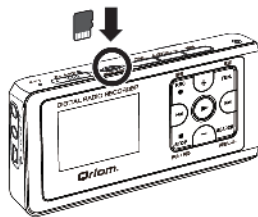
※ マイクロSDカードを使用する際は、初めにパソコンでフォーマットを実施してください。

マイクロSDカードの向きに注意して、ゆっくりと挿入してください。

※ご注意

マイクロSDカードを無理に挿入すると取り出せなくなりますのでご注意ください。

その際、有償修理となりますのでご了承ください。（保証対象外）



ご注意

- ※ 無理にマイクロSDカードを入れると、本機の破損等、思わぬトラブルの原因になりますのでご注意ください。
- ※ NTFS形式でフォーマットされたマイクロSD、マイクロSDHCカードは絶対に本機に挿入しないでください。誤って挿入してしまった場合、保存されたデータがすべて破損してしまいますのでご注意ください。

■ マイクロSD、マイクロSDHCカードの取り扱いについて

ご注意

- 本機にマイクロSD、マイクロSDHCカードは付属しておりません。
- 市販品のマイクロSD、マイクロSDHCカードをお買い求めください。
- サンディスク社製を推奨いたします。
- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードがフォーマットされていない場合、本機で正常に録音／再生ができないことがあります。あらかじめパソコンでフォーマットしてからご使用ください。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードに録音する場合（ライン入力、ボイス、AM/FMラジオ）は別売のACアダプター（YVR-AC1・P20参照）のご使用をお勧めします。又は必ず新品のアルカリ電池をご使用ください。アルカリ電池を使用して録音する場合、内蔵メモリーに録音する時に比べ電池の消耗は早くなり電池持続時間が短くなります。
- ニッケル水素充電電池はマイクロSD、マイクロSDHCカードの種類や容量によってご使用にできない場合があります。

■ マイクロSD、マイクロSDHCカードを本機に認識させる際のご注意

ご注意

本機の電源が入っている状態でマイクロSD、マイクロSDHCカードをブッシュすると簡単にマイクロSD、マイクロSDHCカードを認識します。電源を入れる前からマイクロSD、マイクロSDHCカードを入れている場合は、電源を入れた時にマイクロSD、マイクロSDHCカードが認識されていない可能性があります。

その際は電源が入っている状態でいったんマイクロSD、マイクロSDHCカードを

ブッシュして取り出し、再度ブッシュして入れると簡単に認識します。電池を入れる前にマイクロSD、マイクロSDHCカードを入れてしまった時も上記と同様にいったん取り出し、再度入れると簡単に認識します。

※ 本機はマイクロSD、マイクロSDHCカードが挿入されると、自動的にマイクロSDカード、マイクロSDHCカードに切り替わります。内蔵メモリーの録音、再生を行う場合はマイクロSD、マイクロSDHCカードを抜いてご使用ください。

⚠ 使用できるマイクロSD、マイクロSDHCカードについて

本機ではmicroSD™カード（マイクロSDカード）、microSDHC™カード（マイクロSDHCカード）が使用できます。（別売・市販品）

※ マイクロSDカード最大2GB、マイクロSDHCカード最大32GBまで対応可能です。

マイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカーや種類によって正常に動作しない場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機、マイクロSD（SDHC）カード及びパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

<再生について>

- 本製品で再生可能な形式はMP3形式です。
- 収録されている音楽ファイルの形式がMP3であっても著作権が保護されているファイルの場合は再生できません。

※P68 製品仕様の再生形式を参照してください。

<録音について>

- 録音している際には絶対にカードを取り外したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。マイクロSD、マイクロSDHCカード及び内蔵メモリーに入っている音楽データが破損する恐れがあります。

- マイクロSD、マイクロSDHCカードへの録音は記録互換上まれに音飛びなどが生じる場合があります。これはマイクロSD、マイクロSDHCカードの特性により発生するもので、本機の故障ではありません。お客様が記録された内容については、マイクロSD、マイクロSDHCカードに正しく録音されているか確認していただくことをお勧めいたします。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードに録音する際の電池持続時間はマイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカー、種類により変動いたしますのでご了承ください。

⚠️ ご注意

- 使用後取り出された後は必ずケースに入れて保管してください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造を行ったカードを本機に挿入すると故障の原因となります。
- 貼られているラベルははがさないでください。
- ラベル・シールを貼らないでください。
- 金属端子部分に触らないでください。



SDロゴはパナソニック(株)、SanDisk Corporation、(株)東芝の登録商標です。

別売のACアダプター、USBケーブルの使い方

別売のACアダプターを使用すると、電池がなくても使用することができます。ご自宅でのご使用時は、別売のACアダプターを使用することをお勧めいたします。

※ 専用品をお取り寄せとなりますので、各販売店、又は下記のネットショップにお問い合わせください。

市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

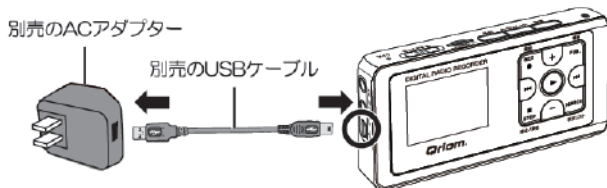
YAMAZEN 暮らしのeショップ
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

ラジオボイス用アダプター 型番：YVR-AC1（P31を参照してください） USBケーブル 型番：YVR-USB1（P31を参照してください）
--

※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。

別売のACアダプターと本機を別売のUSBケーブルで接続します。

注意：充電はできません。



- ※ 電池が本機に入っている場合は、別売のACアダプターに電源が切り替わります。電池は消耗しません。
- ※ 本機へ別売のACアダプターを接続する際は、本機の電源をオフ（P11参照）にして行ってください。
- ※ 別売のACアダプター以外のご使用になれませんのでご注意ください。

ホールドスイッチの使い方

- 本体上面にあるホールドスイッチを右にスライドさせると、誤作動を防ぐことができます。
- ホールド状態を解除するには、ホールドスイッチを左にスライドさせます。



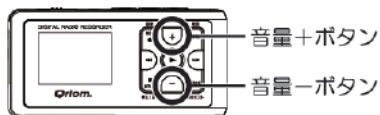
- ホールドスイッチがオン状態の時に何かボタンを押すと、右図のように表示されます。

ホールドスイッチ
をオフにして
ください

注意：本体が動作しない場合は、ホールドスイッチがオンされていないか確認してください。

音量ボタンの使い方

音量ボタン+で音量が大きく、音量ボタン-で音量が小さくなります。
最大音量になると”ピッピッ”と音でお知らせします。



注意

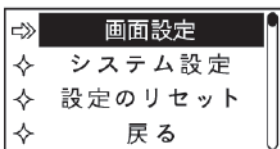
- ※ ラジオを聴いている時はラジオの受信状態によっても音量が変わることがあります。
- ※ 本体スピーカーは、音源により最大音量で再生し続けると破損する原因となりますのでご注意ください。

5) 本体の基本設定をする

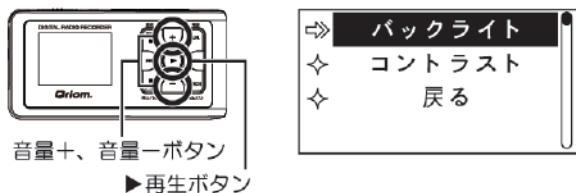
画面設定の方法

バックライト（点灯時間）

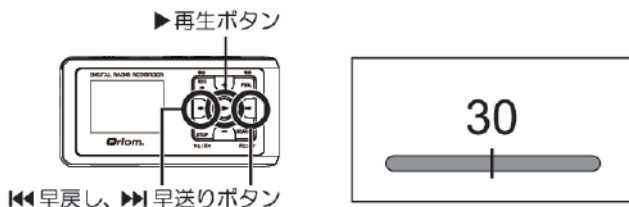
- 1 設定ボタンを短く押すと、下図のような設定画面が表示されます。



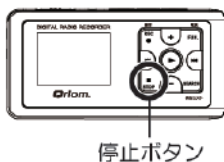
- 2** 音量+、音量-ボタンで画面設定にカーソルを合わせて▶再生ボタンを押すと、下図のような設定画面が表示されます。



- 3** バックライトにカーソルを合わせて▶再生ボタンを押すと、下図のような設定画面が表示されます。
◀◀早戻しボタンと▶▶早送りボタンで00~60（秒）まで点灯時間を調整します。

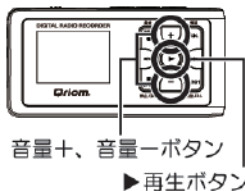


- 4** 1つ前の画面に戻りたい場合は停止ボタンを押します。

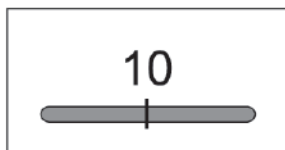
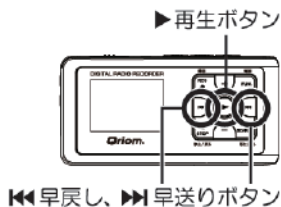


コントラスト

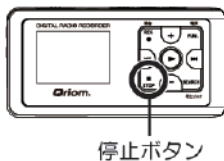
- 1** 音量+、音量-ボタンでコントラストにカーソルを合わせて▶再生ボタンを押します。



- 2** ◀◀早戻しボタンと▶▶早送りボタンで00~20までコントラストを調整します。



- 3** 1つ前の画面に戻りたい場合は停止ボタンを押します。



システム設定の方法

時刻補正のオン/オフを選択

P14をご参照ください。

時刻補正の設定

P14をご参照ください。

日時設定

P12をご参照ください。

スリープ設定

⇒ 時刻補正 (OFF)

◇ 時刻補正

◇ 日時設定

◇ スリープ設定

1 ページ

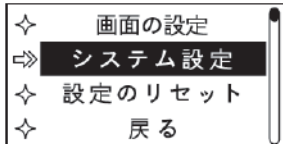
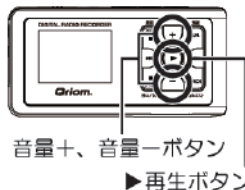
⇒ ページン情報

◇ 戻る

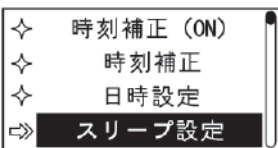
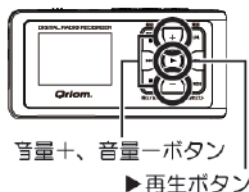
2 ページ

本体の基本設定をする

- 1** 下の画面で音量+、音量-ボタンを押してシステム設定にカーソルを合わせて ▶再生ボタンを押します。



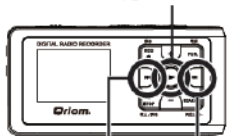
- 2** 音量+、音量-ボタンを押して、スリープ設定にカーソルを動かして▶再生ボタンを押します。



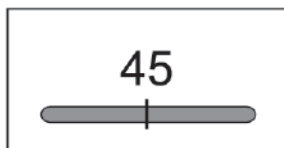
- 3** スリープ設定にカーソルを合わせて▶再生ボタンを押すと、下図のような設定画面が表示されます。

◀◀早戻しボタンと▶▶早送りボタンで時間を00~90（分）まで設定します。

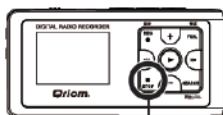
▶再生ボタン



◀◀早戻し、▶▶早送りボタン



- 4** 1つ前の画面に戻りたい場合は停止/戻るボタンを押します。



停止/戻るボタン

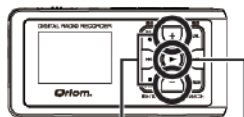
⚠ 注意

本機のスリープ機能のタイマーはボタン操作をしない状態からカウントされます。タイマーが動作中に何かボタンを押すとタイマーがリセットされ、この時から再度カウントが始まります。

スリープ機能が動作して電源がオフになった後、再度電源をオンにするとスリープ設定はオフ（00分）になりますのでご注意ください。

バージョン情報

- 1** 音量+、音量-ボタンでバージョン情報を選択し、▶再生ボタンを押します。



音量+、音量-ボタン

▶再生ボタン

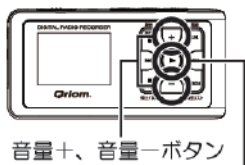


- 2** バージョン情報が表示されます。

2016/01/01
V1.00
Firmware VER.NO

戻る

音量+、音量-ボタンで戻るを選択し、▶再生ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

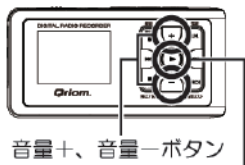


音量+、音量-ボタン
▶再生ボタン

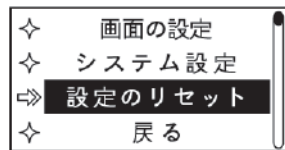


設定のリセット

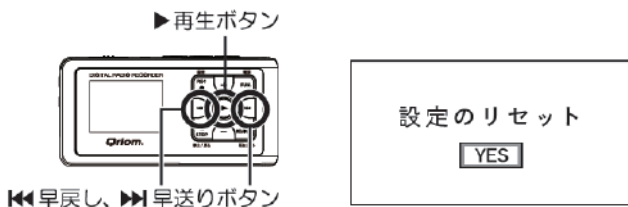
- 1** 下の画面で音量+、音量-ボタンを押して設定のリセットにカーソルを合わせて ▶再生ボタンを押します。



音量+、音量-ボタン
▶再生ボタン



- 2** 下の画面で◀◀早戻しボタンと▶▶早送りボタンを押して **YES** を選択し、▶再生ボタンを押します。
 ※ **NO** の状態で 再生ボタンを押すと設定のリセットはキャンセルされ、前の画面に戻ります。

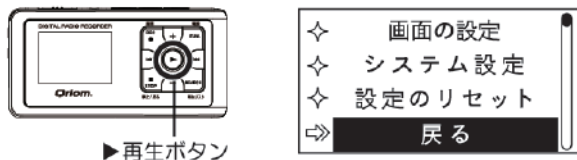


注意

設定のリセットを実行すると、全ての設定した内容がお買い上げ時の状態にリセットされますのでご注意ください。

戻る

戻るにカーソルを合わせて▶再生ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

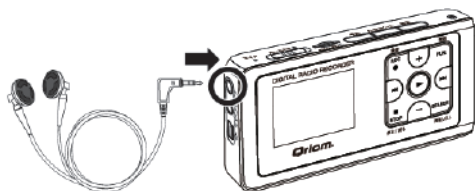


7) ラジオを聴く

アンテナの準備

<FM ラジオの場合>

FMラジオをイヤホンで聴くときは、に差すとアンテナになります。



※ しっかりと奥まで差し込み、コードを伸ばしてください。

<AM ラジオの場合>

AMラジオのアンテナは本体に内蔵されていますので、屋内でご使用の場合は本体を持ってできるだけ窓際等の屋外に近いところへ移動してご使用してください。

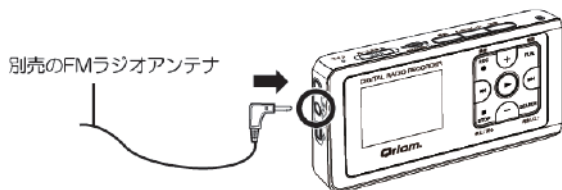
※ 屋外に比べて屋内ではラジオ感度は悪くなります。

※ 鉄筋コンクリートビル内では受信することができませんので、できるだけ窓際へ移動してください。

※ パソコンやテレビ等の電化製品の近くでは受信状態が非常に悪くなりますので、できるだけ離れてご使用ください。

別売のFMラジオ アンテナの使い方

別売のFMラジオアンテナを使用することもできます。
※内蔵スピーカーでFMラジオを聴く場合にご使用ください。



ラジオボイス用FMラジオアンテナ
型番：YVR-FM1（P31を参照してください）
各販売店にお問い合わせください。
市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

また、下記のネットショップでも販売しております。

YAMAZEN 暮らしのeショップ
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。

ラジオを受信するためのコツ

AM ラジオ

できるかぎり窓際で聴いてください。



FM ラジオ

できるかぎりイヤホンのコードを伸ばしてください。



付属品等のオプション販売のご案内

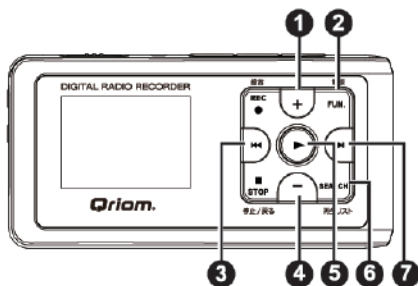
下記の付属品を破損又は紛失した場合はお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

製品名	型番
ラジオボイス用ACアダプター	YVR-AC1
ラジオボイス用FMラジオアンテナ	YVR-FM1
ラインケーブル	YVR-LN1
USBケーブル	YVR-USB1
ステレオイヤホン	YVR-ER3

※ 価格につきましては、販売店にご確認ください。

※ 上記のオプション品は状況により手配できない場合がございますので、販売店にご確認ください。

ラジオを聴くための操作ボタン



① 音量+ボタン

② FUN.ボタン
(電源ボタン)

③ ⏪早戻しボタン

④ 音量-ボタン

⑤ ▶再生ボタン

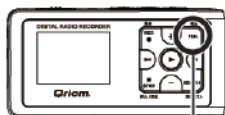
⑥ SEARCHボタン
(再生リストボタン)

⑦ ⏩早送りボタン

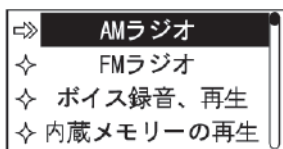
ラジオの受信方法

手動で聴く

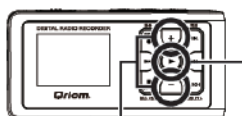
- 1 電源がオン状態でFUNボタン（電源ボタン）を短く押すと、下の画面のように表示されます。



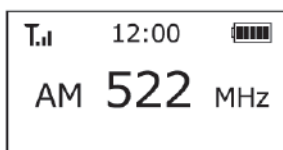
FUNボタン
(電源ボタン)



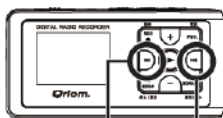
- 2 音量+、音量-ボタンでAMラジオ又はFMラジオを選択し、▶再生ボタンを押します。



音量+、音量-ボタン
▶再生ボタン



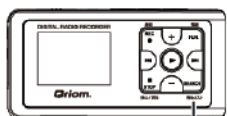
- 2 ◀◀早戻しボタンと▶▶早送りボタンで聴きたい放送局を選択します。



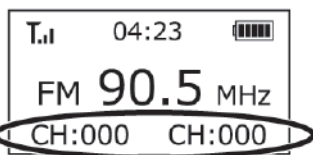
◀◀早戻し、▶▶早送りボタン

自動で周波数を登録する

- 1 ラジオを受信中に、SEARCHボタン（再生リストボタン）を押します。



再生リストボタン

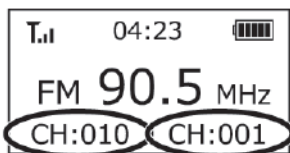


放送局が登録されていない状態

- 2** ▶再生ボタンを長押しすると、自動的に周波数が移動して、放送局が登録されます。



▶再生ボタン

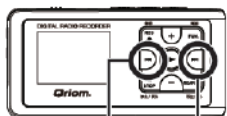


登録された
放送局数

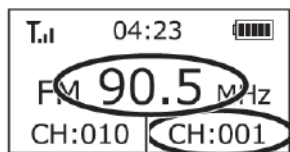
現在選局して
いる放送局

自動で登録した放送局を聴く

- 1** ◀◀早戻しボタンと ▶▶早送りボタンで聴きたい放送局を選択します。



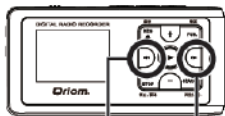
◀◀早戻し、▶▶早送りボタン



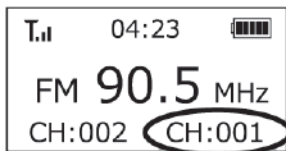
この表示が切り替わります

自動で登録した周波数を消去する

- 1 消去したいチャンネル番号（CH）を◀◀早戻しボタンと▶▶早送りボタンで選択し、削除/A-Bボタンを長押しして消去します。



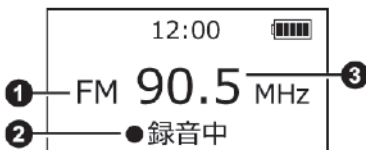
◀◀早戻し、▶▶早送りボタン



削除/A-Bボタン

8) ラジオを録音する

ラジオ録音中画面

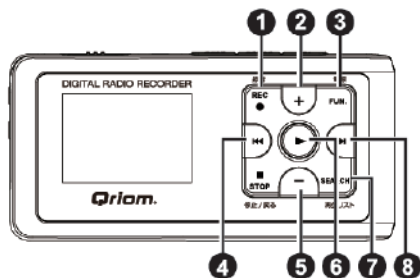


① AM/FM表示

③ 周波数

② 録音中表示

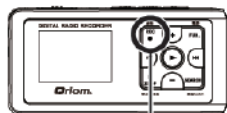
ラジオを録音するための操作ボタン



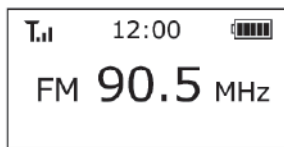
- ① 録音ボタン
(●RECボタン)
- ② 音量+ボタン
- ③ FUN.ボタン
(電源ボタン)
- ④ ◀早戻しボタン
- ⑤ 音量-ボタン
- ⑥ ▶再生ボタン
- ⑦ SEARCHボタン
(再生リストボタン)
- ⑧ ▶▶早送りボタン

ラジオの録音方法

- 1** ラジオを受信中に録音ボタン (●RECボタン) を押します。



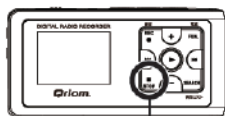
録音ボタン



- 2** 画面が録音中になります。



- 3** 停止/戻るボタンを押すと、録音を停止して保存します。



停止ボタン

<お知らせ>

録音制限容量（マイクロSD、マイクロSDHCカードの場合）

1ファイルで録音できる容量は約640MBです。

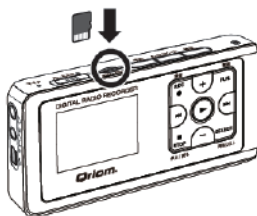
約640MBに到達した場合、自動的に録音を停止し現在のファイルを保存します。その後、自動で新しいファイルが作成され録音が始まります。

※ファイル保存と録音再開までの数十秒間は録音されませんのでご注意ください。

保存先メモリー（内蔵/マイクロSDカード）を変更したい

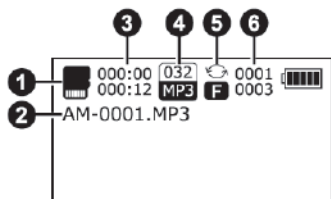
マイクロSDカードを挿入すると、マイクロSDカードに録音されます。

マイクロSDカードが挿入されていない場合は、内蔵メモリーに録音されます。



9) ラジオモードで録音したファイルを再生する

ラジオ再生モード 停止／再生中画面



1 再生状態表示

- マイクロSD、SDHCカード再生中
- 再生一時停止中
- 再生停止中
- 内蔵メモリー再生中

2 ファイル名

3 上段：再生経過時間

下段：録音時間

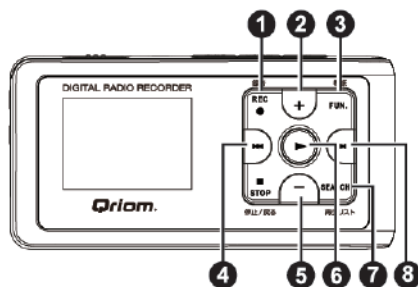
4 録音形式

5 リピート表示

6 上段：現在再生中ファイル番号

下段：総ファイル数

ラジオモードで再生するための操作ボタン



1 録音ボタン

2 音量+ボタン

3 FUN.ボタン (電源ボタン)

4 <<早戻しボタン

5 音量-ボタン

6 >>再生ボタン

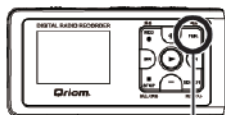
7 SEARCHボタン (再生リストボタン)

8 >>>早送りボタン

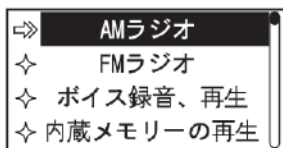
ラジオモードでの再生方法

<マイクロSDカードの再生>

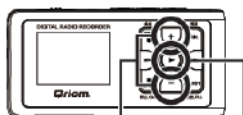
- 1** 電源がオン状態でFUNボタン（電源ボタン）を短く押すと、画面のように表示されます。



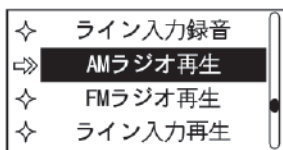
FUNボタン
(電源ボタン)



- 2** 音量+、音量-ボタンでAMラジオの場合はAMラジオ再生を、FMラジオの場合はFMラジオ再生を選択し▶再生ボタンを押します。



音量+、音量-ボタン
▶再生ボタン

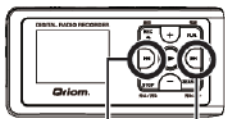


- 3** ラジオモードの再生画面が表示されます。



※ ラジオ録音ファイルが無い場合は、他のモードのファイルが表示されます。

- 4** 再生したいファイルを◀◀早戻しボタン（スキップ-）と▶▶早送りボタン（スキップ+）で選択し、▶再生ボタンを押して再生します。再生中に▶再生ボタンを押すと、再生を一時停止します。



◀◀ 早戻し、▶▶ 早送りボタン

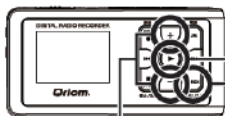


<お知らせ>

再生したいファイルの検索

下図の再生リストボタン（SEARCHボタン）を探すと、再生リストを表示することができます。

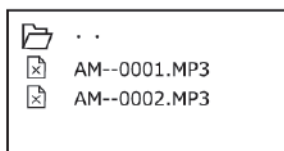
再生したいファイルを音量+、音量-ボタンで選択し、▶再生ボタンを押すと、再生画面に切り替わりますので再度▶再生ボタンを押すと再生が始まります。



音量+、音量-ボタン

▶再生ボタン

再生リストボタン
(SEARCHボタン)



<内蔵メモリーの再生>

1 右の画面で内蔵メモリーの再生を選択します。

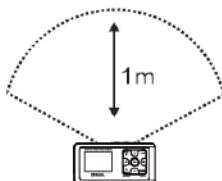
2 再生方法は、前項 **3** と同様の操作になります。



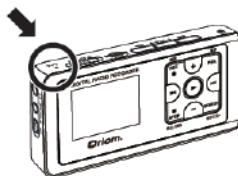
10) ボイスを録音する

マイクについて

内蔵マイクの有効範囲



本体にマイクが内蔵されています。

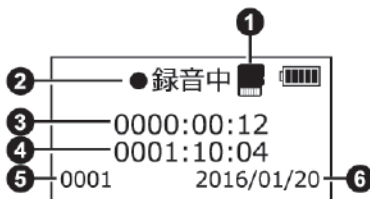


※ 録音時の範囲は、本体より約1m以内が目安となります。

<お知らせ>

- 内蔵メモリーで約10分の録音ができます。
- 録音ファイルを正常に保存するため、マイクロSDカードの録音残時間が3分になった場合、録音ができませんのでご了承ください。
市販の外部マイク等は一切使用できませんのでご了承ください。

ボイスモード*録音中画面



1 選択中メモリー

マイクロSD、SDHCカード

内蔵メモリー

2 録音中表示

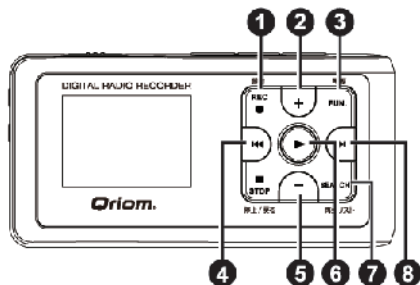
3 録音経過時間

4 録音残時間

5 録音中のファイル番号

6 録音年月日

ボイスモードで録音するための操作ボタン

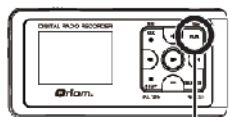


- | | | |
|----------------------|------------|---------------------------|
| ① 録音ボタン
(●RECボタン) | ④ <<早戻しボタン | ⑦ SEARCHボタン
(再生リストボタン) |
| ② 音量+ボタン | ⑤ 音量-ボタン | ⑧ >>>早送りボタン |
| ③ FUNボタン
(電源ボタン) | ⑥ ▶再生ボタン | |

ボイス録音方法

- ※マイクロSDカードを挿入している場合は、マイクロSDカードに録音されます。
- ※マイクロSDカードが挿入されていない場合は、内蔵メモリーに録音されます。

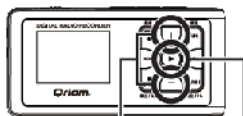
- 1 電源がオン状態でFUNボタン（電源ボタン）を押すと、画面のように表示されます。



FUNボタン
(電源ボタン)



- 2** 音量+、音量-ボタンでボイス録音、再生を選択し▶再生ボタンを押します。



音量+、音量-ボタン
▶再生ボタン

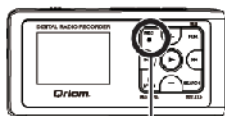


※お知らせ

マイクロSDカードが挿入されていない場合は、右のように表示されます。内蔵メモリーに録音する場合はそのまま録音ボタン（●RECボタン）を押すと録音を開始します。

メモリーカードが入ってません
録音ボタンで内蔵メモリーへ録音開始

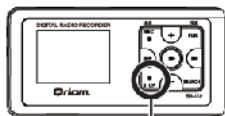
- 3** 録音ボタンを押します。



録音ボタン



- 4** 停止/戻るボタンを押すと、録音を停止して保存します。

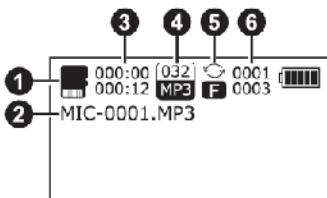


停止ボタン



11) ボイスモードで録音したファイルを再生する

ボイス再生モード 停止／再生中画面



1 再生状態表示

- マイクロSD、SDHCカード再生中
- 内蔵メモリー再生中
- 再生一時停止中
- 再生停止中

2 ファイル名

3 上段：再生経過時間

下段：録音時間

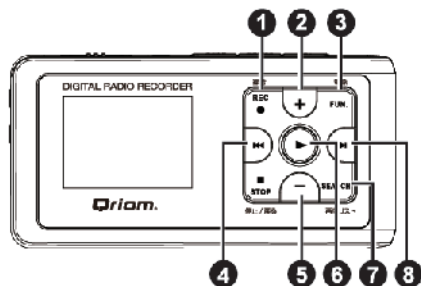
4 録音形式

5 リピート表示

6 上段：現在再生中ファイル番号

下段：総ファイル数

ボイスモードで再生するための操作ボタン

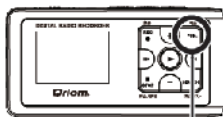


- | | | |
|----------------------|------------|---------------------------|
| ① 録音ボタン | ④ ◀◀早戻しボタン | ⑦ SEARCHボタン
(再生リストボタン) |
| ② 音量+ボタン | ⑤ 音量-ボタン | ⑧ ▶▶早送りボタン |
| ③ FUN.ボタン
(電源ボタン) | ⑥ ▶再生ボタン | |

ボイスモードでの再生方法

<マイクロSDカードの再生>

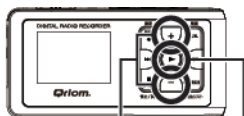
- 1** 電源がオン状態でFUN.ボタン（電源ボタン）を押すと、画面のように表示されます。



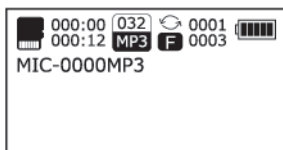
FUN.ボタン
(電源ボタン)



- 2** 音量+, 音量-ボタンでボイス録音、再生を選択し▶再生ボタンを押します。

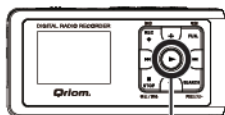


音量+、音量-ボタン
▶再生ボタン

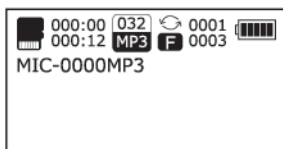


※ ボイス録音ファイルが無い場合は、他のモードのファイルが表示されます。

3 ▶再生ボタンを押すと、再生します。



▶再生ボタン



<内蔵メモリーの再生>

P39 内蔵メモリーの再生を参照してください。

ボイスモード停止中

◀◀ 早戻しボタン …… フォルダ内の選択

▶▶ 早送りボタン

▶再生ボタン …… 選択したファイルを再生します

A-Bリピート (ERASE) ボタン

…………… 長押しで消去します。再生中も消去できます

ボイスモード再生中

◀◀ 早戻しボタン ……短押しでフォルダ内のファイルを選択します。
▶▶ 早送りボタン ……ボタンを押し続けると、再生を早送り、早戻しします。

▶ 再生ボタン ……選択したファイルを再生します

A-Bリピート (ERASE) ボタン
……長押しで消去します。再生中も消去できます

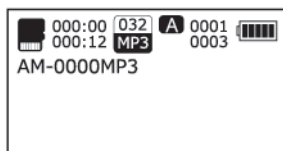
A-Bリピートとは

特定区間をリピートします。

- 1 ラジオを再生中に、再生中に繰り返したいところ (A点) でA-Bリピートボタンを押します。



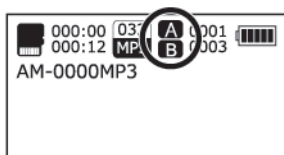
A-Bリピートボタン
(削除ボタン)



- 2 A-Bアイコンが表示されます。Aが点灯して、B点の入力待ちの状態になります。繰り返したい位置で、再度A-Bリピートボタンを押します。Bが点灯し、A-Bリピート再生が始まります。



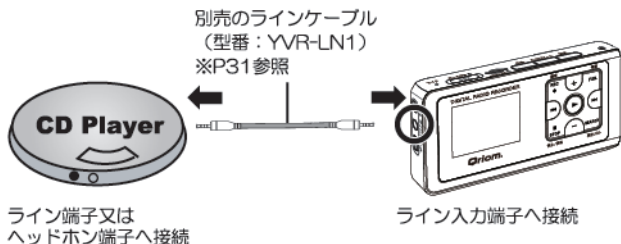
削除/A-Bボタン



12) ライン入力で録音する

ラインケーブルについて

外部機器から音楽等を録音します。



CDプレーヤー等の再生元の機器は音量調節機能（ボリューム）がついているものをご使用いただき、出来るだけ音量を大きくして録音してください。

※ 再生のボリュームを大きくし過ぎると音割れすることがありますので、ご注意ください。

ラジオボイス用ラインケーブル
型番: YVR-LN1 (P31を参照してください)

各販売店にお問い合わせください。

市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

また、下記のネットショップでも販売しております。

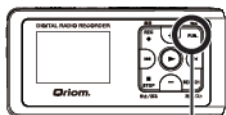
YAMAZEN からのeショップ

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

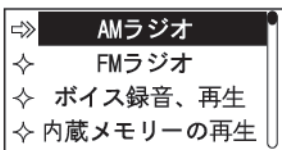
※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。

ライン入力モードで録音する

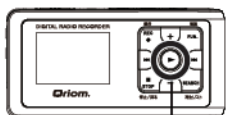
- 1** 電源がオン状態でFUNボタン（電源ボタン）を短く押すと、下の画面のように表示されます。



FUNボタン（電源ボタン）



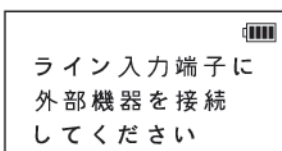
- 2** ライン入力録音を選択し▶再生ボタンを押します。



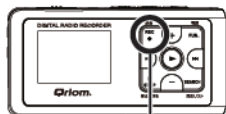
▶再生ボタン



- 3** 下記のような画面が表示されたら、ライン入力端子に外部機器を接続してください。



- 4** 録音ボタン（●RECボタン）を押すと、録音が始まります。



録音（●RECボタン）ボタン



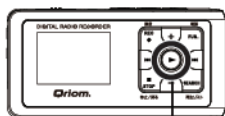
- 5** ライン入力端子に接続した外部機器の再生を開始します。

- 6** 停止/戻るボタンを押すと、録音を停止して保存します。

13) ライン入力で録音したファイルを再生する

ライン入力モードでの再生方法

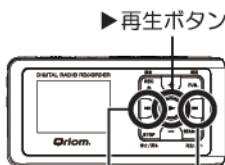
- 1** 下のメニュー画面でライン入力再生を選択し▶再生ボタンを押します。



▶再生ボタン

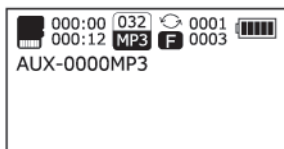


- 2** 再生したいファイルを◀◀早戻しボタンと▶▶早送りボタンで選択し、▶再生ボタンを押して再生します。再生中に▶再生ボタンを押すと再生を一時停止します。



▶再生ボタン

◀◀早戻し、▶▶早送りボタン



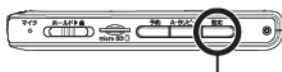
※ ライン入力録音ファイルが無い場合は、他のモードのファイルが表示されます。

以降の基本的な操作は「ボイスモードでの再生方法」と同じです。P44をご参照ください。

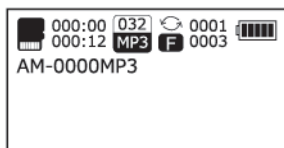
14) リpeatモードを変更する

リpeatモードを変更する

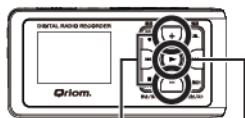
- 1** ラジオ、ボイス、ライン入力の再生画面で、設定（SET）ボタンを長押しします。



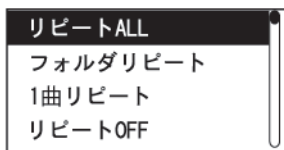
設定（SET）ボタン



- 2** 下図のようにリpeatメニューが表示されますので、音量+、音量-ボタンでリpeatモードを選択し▶再生ボタンで決定します。



音量+、音量-ボタン
▶再生ボタン



- リpeat ALL : 全てのファイルをリpeatします
フォルダリpeat : 再生中のフォルダ内のファイルをリpeatします
1曲リpeat : 再生中の1ファイルのみリpeatします
リpeat OFF : リpeatをOFFにします

15) 録音したファイルを消去する

ラジオモードでの再生方法 (P38)、ボイスモードでの再生方法 (P44)、ライン入力モードでの再生方法 (P49) を参考に消去したいファイルを選択し、停止状態にしてください。※各モードでの消去方法は同じです。

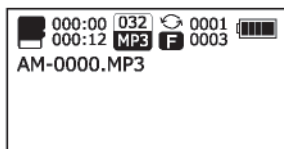
注意 本機でファイルを消去した後に録音したファイルは、消去したファイルのファイル番号の若い順から上書きするように保存していきますので、古いファイルの中に混ざった状態になります。
古いファイルの中に新しいファイルが混ざらないように録音する場合は、本機で消去は行わず、本機のマイクロSDカードがいっぱいになった時に全てのファイルをパソコンへ移動してからパソコン上で消去することをおすすめします。
※容量がいっぱいになったマイクロSDカードは全てのデータをパソコンへバックアップした後、パソコンで全消去してからご使用ください。一度消去したデータは元に戻すことはできませんのでご注意ください。

録音したファイルの消去方法

- 1 停止画面で消去ボタンを長押しします。

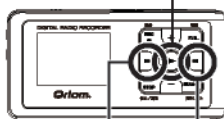


消去ボタン



- 2 ◀◀早戻しボタン又は▶▶早送りボタンを押してYESを選択し、▶再生ボタンを押すとファイルが消去されます。

▶再生ボタン



◀◀早戻し、▶▶早送りボタン



YES に変わります

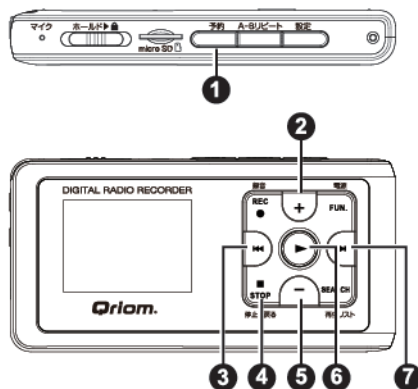
※ 画面が **NO** のままで ▶再生ボタンを押すと、消去されずに元の再生画面に戻ります。

16) 予約して録音する

〈お知らせ〉

- 予約録音時は、スピーカーから音が出ませんのでご注意ください。
※イヤホンで聴くことができます。
- 録音ファイルを正常に保存するため、内蔵メモリー、マイクロSDカードの録音残時間が3分になった場合、録音ができせんのでご了承ください。
- 時刻補正機能（P14）がONの場合、PM12:55～13:05の間は予約を設定することができませんのでご注意ください。

予約して録音するための操作ボタン



① 予約ボタン
(RESVボタン)

③ ◀◀早戻しボタン
④ 停止/戻るボタン

⑥ ▶再生ボタン
(決定ボタン)

② 音量+ボタン

⑤ 音量-ボタン

⑦ ▶▶早送りボタン

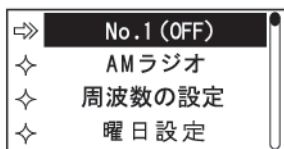
予約録音方法

- ※ マイクロSDカードを挿入している場合、マイクロSDカードに録音されます。
- ※ マイクロSDカードが挿入されていない場合は、内蔵メモリーに録音されます。
- ※ 内蔵メモリーへの録音は10分のみとなりますので、予約録音の際は別売・市販品のマイクロSDカードのご使用をお勧めします。

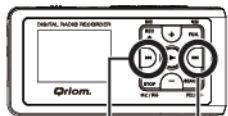
1 予約ボタン（RESVボタン）を押すと、下図のように表示されます。



予約ボタン
(RESVボタン)



2 予約番号にカーソルを合わせ、No.1～No.7を◀◀早戻し、▶▶早送りボタンで選択します。



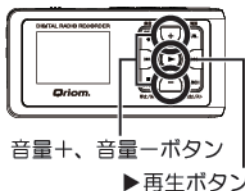
◀◀早戻し、▶▶早送りボタン

No.1～No.7を選択します。

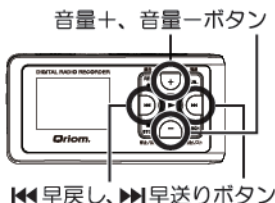


- 3** 予約番号の右側の (ON) / (OFF) 表示が (OFF) になっていることを確認します。▶再生ボタンを押すたびに (ON) と (OFF) が切り替わります。

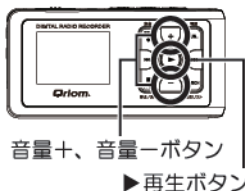
※ (ON) の場合、各設定を変更することができませんのでご注意ください。



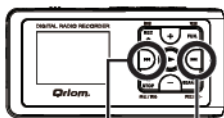
- 4** 音量+, 音量-ボタンでAMラジオを選択します。次に◀◀早戻し、▶▶早送りボタンでAMラジオかFMラジオを選択します。



- 5** 音量+, 音量-ボタンで周波数の設定を選択し、▶再生ボタンを押します。



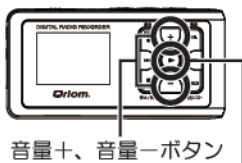
◀◀早戻しボタンか▶▶早送りボタンで予約したい放送局を決定します。
※ボタンを押し続けると、周波数を早く移動させることができます。



◀◀早戻し、▶▶早送りボタン

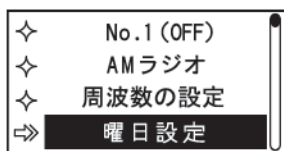
AM 1242 MHz

6 音量+、音量-ボタンで曜日設定を選択し、▶再生ボタンを押します。



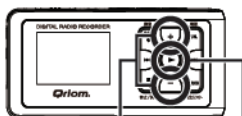
音量+、音量-ボタン

▶再生ボタン



音量+、音量-ボタンで移動して、▶再生ボタンを押して予約したい曜日を選択します。選択した曜日の左側にはチェックマークが入ります。

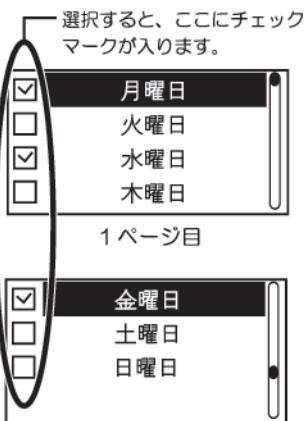
曜日の選択が終わったら、停止/戻るボタンを押して前の画面に戻ります。



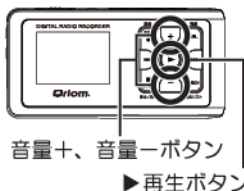
音量+、音量-ボタン

▶再生ボタン

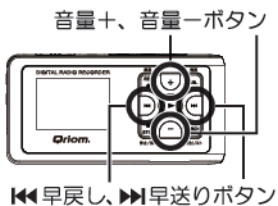
※選択した曜日を繰り返し予約録音します。



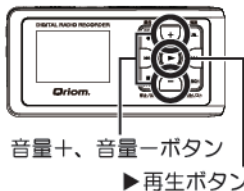
- 7** 音量+、音量-ボタンで開始時間を選択し、▶再生ボタンを押します。



音量+、音量-ボタンで開始時刻を合わせます。◀◀早戻し、▶▶早送りボタンで時、分が移動します。



- 8** 音量+、音量-ボタンで終了時刻を選択し、▶再生ボタンを押します。

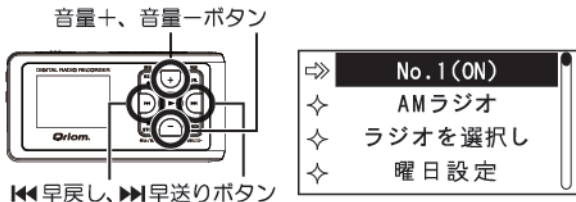


7と同じ要領で音量+、音量-ボタンで終了時間を合わせます。

- 9** 音量+、音量-ボタンでNo.1 (OFF) を選択します。次に▶ボタンを押してNo.1 (ON) を選択すると予約完了です。

※ 本機の電源を必ずオフにしてください。オンの場合、予約はキャンセルされて録音されませんのでご注意ください。

※ 他の予約や時刻自動補正と曜日、時刻が重複している場合は予約を (ON) に設定できませんのでご注意ください。他の予約番号の設定内容を確認してください。



<お知らせ>

- 予約録音中、画面表示されません。また、予約録音中はスピーカーから音が出ませんが、イヤホンで聴くことはできます。
- 予約録音で設定した時間の長さや実際の録音ファイルの時間の長さに数秒の誤差が生じますが製品仕様となりますのでご了承ください。

予約一覧表示

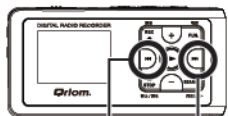
予約ボタン (RESVボタン) を長押しすると、予約一覧が表示されます。



予約ボタン

AM	594KHz	No.1
	開始時刻：00:00	
	終了時刻：01:00	
	月火水木金土日	

◀◀早戻し、▶▶早送りボタンを押すと、予約番号が切り替わります。

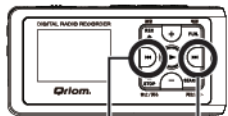


◀◀早戻し、▶▶早送りボタン

FM	82.5KHz	No.2
	開始時刻：01:01	
	終了時刻：02:00	
	月火水木金土日	

予約の変更

- 1 予約の設定画面で◀◀早戻し、▶▶早送りボタンを押して変更したい予約番号No.1～No.7を選択します。

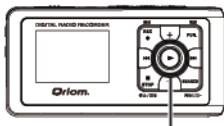


◀◀早戻し、▶▶早送りボタン

No.1～No.7を選択します。

▶	No. 1 (ON)
◇	AMラジオ
◇	周波数の設定
◇	曜日設定

- 2** 予約番号の右側の (ON) / (OFF) を▶再生ボタンを押して (OFF) に設定します。



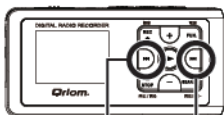
▶再生ボタン



- 3** 以降はP54の**4**〜と同様の操作となります。

予約をオフにする

- 1** 予約の設定画面で◀◀早戻し、▶▶早送りボタンを押して、予約をオフにしたい予約番号No.1~No.7を選択します。

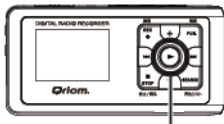


◀◀早戻し、▶▶早送りボタン

No.1~No.7を選択します。



- 2** 予約番号の右側の (ON) / (OFF) を▶再生ボタンを押して (OFF) に設定します。



▶再生ボタン



- 3** 予約がオフに設定されます。

17) パソコンとの通信

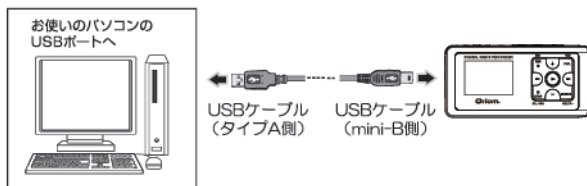
! パソコン操作に関しては、パソコンメーカー様へお問い合わせください。
本機の内蔵メモリーはパソコンで認識することができません。

パソコンとの接続、取り外し

本機とパソコンを接続する

本機とパソコンを別売のUSBケーブル（YVR-USB1・P31参照）を使って接続します。

※本機の内蔵メモリーはパソコンで認識することができません。ご注意ください。



<動作環境>

Pentium 500MHz processor以上

Windows Vista/7/8/8.1/10 Mac OS X (version10.2.6以上)

パソコンと接続するとハードウェア認識のメッセージが表示され、USBドライバーがインストールされます。USBドライバーがインストールされると、エクスプローラーの「コンピュータ」の中にリムーバブルディスクが表示されます。

ラジオボイス用USBケーブル
型番：YVR-USB1（P31を参照してください）

各販売店にお問い合わせください。

市販品はご使用になれませんのでご注意ください。


また、下記のネットショップでも販売しております。

YAMAZEN 暮らしのeショップ

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。

本機とパソコンの接続を解除する

パソコン画面のタスクバー通知領域の”ハードウェアの安全な取り外し”アイコン（ Windows7/8/8.1/10）をクリックし、表示された本機をクリックし、指示に従い取り外してください。

表示はお客様のパソコンの環境によって異なります。

ご使用上の注意

- 安全に本機の取り外しを行うために、必ず手順を守ってください。間違った手順で取り外しを行った場合、データ損失や機器故障の原因となることもあります。
- 本機を間違った手順で取り外したことによりパソコン本体などに関する機器のトラブルおよびデータの損失につきましては一切保証しませんのでご了承ください。
本機とパソコンが通信中の際は、本機をパソコンから絶対に取り外さないでください。

録音したラジオや音声をパソコンで聴く・保存する

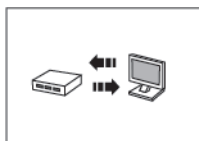
本機をパソコンに接続した場合、本機はマイクロSDカードリーダーとして機能します。市販のマイクロSDカードリーダーと同様の操作で、録音したファイルの再生、保存ができます。

保存方法はパソコンメーカー様にお問い合わせください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消去や破損に備え、大切な録音内容は必ず予備としてパソコンまたはメモリーカードに保存してください。

パソコンに接続中の本機の画面表示



パソコンに接続中の本機（マイクロSD）のフォルダ構成



“リムーバブルディスク (F)” の“F” はお客様のパソコン環境によって異なります。

左図のフォルダは本機により自動作成されます。音声録音ファイルは“MIC”、ラジオ録音ファイルは“am” “fm”、ライン入力録音ファイルは“line in”フォルダに保存されます。

AMラジオ録音ファイル

AM-0001.MP3
└──┬──
固定 通し番号

FMラジオ録音ファイル

FM-0001.MP3
└──┬──
固定 通し番号

音声録音ファイル

MIC-0001.MP3

固定 通し番号

ライン入力録音ファイル

AUX-0001.MP3

固定 通し番号

<参考>

※パソコンで見ることはいけません。

内蔵メモリー録音ファイル

REC0001.MP3

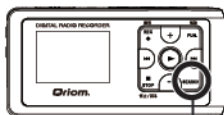
固定 通し番号

パソコンから取り込んだ音楽を再生する

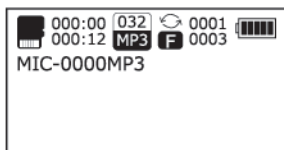
最初にパソコンと本機をP60～を参照して接続し、本機に挿入したマイクロSDカード（別売・市販品）へ音楽ファイルをコピーします。

※ 本機で再生可能なファイル形式はMP3形式となります。（MP3形式であっても再生できないファイルがありますのでご了承ください。）

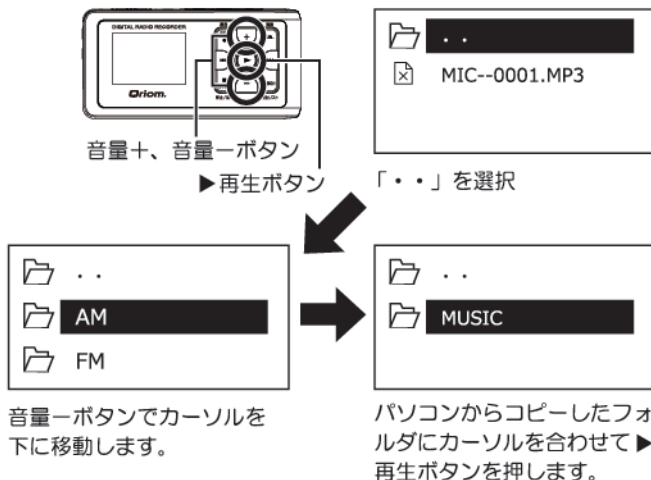
- 1 ボイス再生画面でSEARCHボタン（再生リストボタン）を押します。



SEARCHボタン
(再生リストボタン)

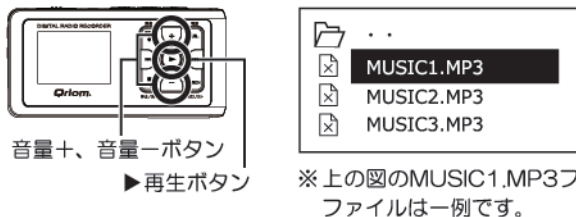


- 2** 再生リストが表示されるので、パソコンからコピーしたフォルダを音量+、音量-ボタンで選択し▶再生ボタンを押します。



※上の図のフォルダ名はお客様が作成した名前で表示されます。(MUSICは一例です。)

- 3** 聴きたい曲(ファイル/****.MP3)を音量+、音量-ボタンで選択し、▶再生ボタンを押すと再生が始まります。
※再生方法の詳細はP44を参照ください。



18) その他

データの取り扱いに関する注意

- パソコンにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう十分注意してください。当社、および本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が上記のような違反行為に使用された場合、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に伴い、USB接続によりパソコンに書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害に関しては、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的以外であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権法の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律により処罰の対象になります。

故障かな・・・?と思ったら

故障かな・・・?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

電 源

■ 電源が入らない。

- ・電池残量が少ない。
 - ▶新しい電池に交換してください。
- ・電池の＋、－が逆。
 - ▶正しく電池を入れ直してください。
- ・動作がおかしい。
 - ▶電池を一旦抜いて、再度入れ直してください。

イヤホン

■ 音声がイヤホンから聴こえない。

- ・イヤホンがきちんと奥まで差していない。
 - ▶イヤホンの端子を持って奥まできちんと差し込んでください。
- ・イヤホンをライン入力端子に差している。
 - ▶イヤホンはイヤホン端子に差し込んでください。
- ・音量が小さい。
 - ▶音量を大きくしてください。

FMラジオ

■ FMラジオの音がよく聴こえない。

- ・イヤホンを差していない。
 - ▶ イヤホンはアンテナの替わりになるので、イヤホン端子又はライン入力端子に奥まできちんと差し込んでください。
- ・イヤホンのコードを小さくたたんでいる。
 - ▶ イヤホンのコードは出来るだけ伸ばしてください。

録音・再生

■ 録音がうまくできない。

- ・ホールドになっている。
 - ▶ ホールドスイッチをオフにしてください。
- ・録音時間、録音件数がいっぱいになっている。
 - ▶ いくつかのファイルを消去してください。
 - ▶ パソコンと本機を接続し、マイクロSDカードのデータをパソコンに移動してください。
- ・内蔵メモリーは10分しか録音することができませんのでご了承ください。

■ 再生がうまくできない。

- ・ホールドになっている。
 - ▶ ホールドスイッチをオフにしてください。
- ・電池残量が少ない。
 - ▶ 新しい電池に交換してください。

■ 録音・再生したデータが音飛びする

マイクロSDメモリーの状態によって再生時、稀に音飛びを生じることがあります。その際は一度メモリーをパソコンでフォーマットしてから、再度録音をお試しください。また、音飛びしているデータを修復することはでき兼ねますのでご了承ください。

製品仕様

型番	YVR-R304	
内蔵メモリー	4MB	
外部メモリー	マイクロSD(マイクロSDHC)スロット搭載	
LCD	128×64ドット バックライト付モノクロ液晶	
再生形式	MP3	MP3 : 32Kbps~320Kbps
録音形式	MP3	32Kbps
FMラジオ	周波数範囲	76MHz~95MHz
	感度	20dB μ 以下
AMラジオ	周波数範囲	522KHz~1620KHz
	感度	68dB μ 以下
外部出力端子	ステレオイヤホン端子 ϕ 3.5mmステレオミニジャック	
入力端子	ライン入力端子 ϕ 3.5mmステレオミニジャック	
外部インターフェース	USB端子	USB2.0 General Type (マイクロSDスロットのみ対応)
最大フォルダ数	無制限	
最大フォルダ階層	9階層	
最大ファイル数	10,000個 (※各フォルダ毎の上限)	
オーディオ	S/N比	85dB
	周波数特性	20Hz~20KHz
	イヤホン	3mW+3mW
	スピーカー	最大300mW
OS	Windows VISTA/7/8/8.1/10、 Mac OS X (Version 10.2.6) 以上	
電源	DC3V、 単4形アルカリ乾電池×2 (別売市販品)、 単4形ニッケル水素充電電池×2 (別売市販品)	

再生時電池 持続時間 (マイクロSD)	イヤホン	約11時間
	スピーカー	約9時間
録音時電池 持続時間 (マイクロSD)	ボイスレコーダー	約11時間
	AMラジオ	約8.5時間
最大録音時間	内蔵メモリー約10分、 マイクロSDHC 4GB (別売・市販品) 約269時間	
マイクロSD カード	SD	2GB
	SDHC	32GB
外形寸法	W103.5mm×H52mm×D14.6mm	
重量	約50g (本体のみ)	

ご注意

電池持続時間は参考値です。
使用する電池、使用する条件により大きく異なります。

- ※ FMラジオ、ライン入力録音はステレオ録音に対応しています。
ボイス、AMラジオ録音はモノラル録音となりますのでご注意ください。
※ 内蔵スピーカーはモノラルです。

免責事項

- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡下さい。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書と本製品の異なる部分がございましたら、本製品の仕様を優先させていただきます。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくはQriomサポートセンターにご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- ②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
- ③本製品のために費やした時間、経費
- ④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
- ⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

※本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

お手入れの仕方

<本体の清掃>

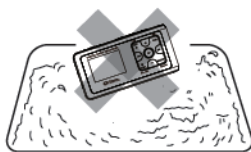
汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

お 願 い

- お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学そうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。




- 本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。



アフターサービス

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。詳細は保証書をご覧ください。

- アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店か キュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：  **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：E-mail：support@qriom.com

ホームページ：

個人情報保護のお取り扱いについて

株式会社山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。